

ことになり。平成19年度の公共下水道基本計画の進捗率は32%となっておりますが、今後の整備については、現在の市の財政状況等を勘案すると、基本計画どおりの実施は困難であると考えています。

当市の下水道化基本構想では、旧市町村で公共下水道や農業集落排水施設等の構想がありましたが、現在事業認可を受けているのは、旧大洲市の肱南、肱北処理区の公共下水道事業となっております。計画の対象区域については、計画期間

肱北浄化センター



や人口の見直し、工事費の削減に努めながら、財政状況の許される範囲の中で慎重に事業推進を図っていきたいと考えています。

ふるさと納税

問 現在までの寄付と今後の取り組みについて

答 平成20年の地方税制改正により、出身地の自治体などを直接応援することができるようふるさと納税制度がスタートし、約4カ月が経過したところです。

この制度に伴う県内各自治体の寄附の申し出状況は、9月1日現在で合計279件、1,171万9,800円で、そのうち本市に対する寄附は5件で32万円となっております。寄附をしていただいた5人の方は皆さん本市の御出身です。寄附の動機は、お盆の里帰りで帰省して記事を見られた方や市のホームページを見て思い立ったという方までさまざま、改めてふるさとを思う心のありがたさと制度のPRの必要性を痛感したところです。

寄附していただいた方には、お礼の気持ちとして、大洲城や臥龍山荘、風の博物館と歌麿館などの市内観光施設の無料観覧券をお送りすることにしており、帰省された際に御利用いただければと考えています。

今後の取り組みについては、制度の内容を十分御理解いただいた上で、より多くの方に寄附していただくよう、各地域の県人会や同窓会などの集まりで積極的なPR活動を行うとともに、市民の皆さんにも身近な御親戚などへ働きかけをお願いするなど、さまざまな形で普及啓発に努めていきたいと考えています。

AEDの設置

問 小・中学校への配置状況について

答 AEDについては、平成17年度から年次計画によって公民館、学校などの公共施設に配置しており、現在、貸し出し用の1台を含め31台を配備している状況です。

学校施設への配備につい



小学校に配置されているAED

ては、小学校3校、中学校3校という状況になっていきます。

年次計画では、最終的に91台程度を配備する予定で、毎年10台程度のペースで設置し、平成25年度をめどに配備が完了する見込みです。

学校施設については、小学校28校、中学校9校の全校がこの計画に盛り込まれているところですが、ほかの公共施設との関係や地域性なども考慮しながら余り偏りのないよう進めていきたいと考えています。

なお、これまでに設置を

したAEDの中には地域貢献活動に理解を示していただいています清涼飲料販売会社、また市内の各種企業から御提供いただいたものも含まれていますが、こうした関係各位の御配慮に対し、この場をかりて厚くお礼を申し上げます。

バイオマスの利活用

問 木質ペレットの製造について

答 木質バイオマスエネルギー事業は、近年の原油高騰、地球温暖化等により、化石燃料の代替燃料として世間で注目を集めています。市内でも木質ペレットを使った農業ハウスの暖房実証試験が行われていま



廃材やおが屑などから作られる木質ペレット